

# 救命蘇生法講習会



シアトル市では、総人口約60万人の半数が救命講習を受講し応急手当をできるため、市内で倒れた場合**60%**は助かるといわれています。しかし、日本の救命率はわずか**7.8%**。スポーツ中、介護、街中、自宅などで人が倒れたとき、率先して行動できるようにしよう！

平成28年6月19日に行われた講習会のレポート



消防車2台が並び実習室。高性能マネキンズをズラリと配置準備万端!!



お手本見事な連携プレー!



こんなに力が要るの!?

実際遭遇したとき参考になります



鈴木先生の講義を聞いてから、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDなど練習を繰り返す。学生が親切丁寧に教えてくれるし、どんな質問にも優しく答えてくれます。

モニターをみてごらん



へえ～すごい

必見の**衝撃映像!!!**  
「心室細動を起こしている心臓」  
「サッカー中に心臓が止まった瞬間」  
「死戦期呼吸をしている人」など

学生のデモンストレーション  
「家で父が倒れた～救急車が到着してから～」



臨場感があり冷静で手際が良く安心感がありました格好良い～☆

Padでマネキンへの圧迫の深さや速さを測定して表示。どれくらいの力で押せばよいのかが分かります。人工呼吸をすると胸が上がり、脈をとることもできる、最先端の機材です。



意識障害の回復体位は、酔って寝た人にも使えます

後期 **9月18日(日)開催!!** **募集**